

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
313.2	点字奉仕員等養成事業	01	01	一般会計	
		03	03	民生費	
5	障がいのある人等の自立した生活を支える	01	01	社会福祉費	
		04	04	障害福祉費	
		102	102	障害者保護費	
		03	03	身体障害者保護事業(県単)	
担当部課名	健康福祉部高齢障害課		細目	102	障害者保護費
作成者氏名	榊 光裕	連絡先	22-9657	細々目	03

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	視覚障害者の福祉に理解と熱意を有する者	点訳、音声訳、校正並びに手話の指導を行うことにより、点訳・音声訳・手話通訳等奉仕者を養成し、もって視聴覚障害者の福祉の増進を図る
本年度事業内容	17年度は、本事業を伊賀市社会事業協会に委託して実施。 ○点訳 定例研修会 毎月1回 ○音声訳 講習会月2回、定例研修月4回、対面朗読35回 ○点訳・音声訳合同研修 年1回 ○手話 講習会月2回、定例研修月1回、通訳者養成講習年20回	
開始年度	平成 16 年度	終了年度 平成 年度
根拠法令・要綱等		

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	600	600	600
委託料	600	600	600
その他			
合計(A+B)	1,320	1,320	1,320
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金	400		
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	920	1,320	1,320
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
延べ参加者数	人	1167	1200	1200			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
参加者数	参加者数を指標とする	人	1167 目標 (1500)	1200	1250
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

<ul style="list-style-type: none"> 旧上野市から伊賀市社会事業協会へ委託してきた経緯がある。 養成した奉仕員が、定着できるよう検証及び支援が必要である。 事業の周知啓発については、「広報いが市」等を通じて啓発している。 平成18年10月からは、障害者自立支援法の地域生活支援事業へ移行予定。
--

評価	必要性	4	養成した奉仕員が定着しているかどうかを検証する等、事業のあり方について検討を要する。	総合評価
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	2		
				B